

～初級から楽しく描こう～  
第11期 楽しい水彩・パステル

【9月の活動報告】

9月4日（月）水彩 風景（1）風景のポイント（透視図法）とパステル（1）歴史

○土方先生の講義

風景画を描く時に基本となる遠近法と透視図法について学びました。

その後でパステル画の歴史についても学びました。

座学で学んだことは午後からの実技で自らの作品を描く中で早速活かします。

○各人の作品発表

各人が夏季休暇の間に描いた絵を発表し、土方先生から講評をいただきました。

この絵画教室に参加するメリットは、クラスメイトの作品をいろいろ拝見し、またその作品の制作過程も見ることができること、製作者より作品制作時の苦労話や描く上でのテクニックなどを直接聞けることです。

周りの方々からいろいろな刺激を受けながら、自らのやる気も創出されます。

【各人の作品発表の風景】



9月11日（月）水彩 風景（2）空気遠近法

○空気遠近法という言葉は難しそうに聞こえますが、近くのもののはっきり見え、遠くのものぼんやり見えます。これを描く絵の中でも表現するということです。

このような基本の法則を学び、改めていろいろな画家の作品を見ると講義内容が確かに納得できます。

1年間という期間の毎回の講義で多くのことを学びますが、自らの作品にどれだけ活かせるようになるかは終わってからの楽しみですが、各自が自ら満足できる作品が

描けるようになるよう、意欲的に日々努力を重ねています。

ご興味のある方は是非一度見学にお越しください。

【クラス風景】

